

令和 5 年度事業報告書

(令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日)

社会福祉法人 兵庫盲導犬協会

事業部門

I 盲導犬貸与事業

2022 年 10 月～3 月まで行っていた西宮市在住の女性の共同訓練を 2023 年 10 月から再開し、11 月 18 日に盲導犬として認定した。

II 社会参加訓練事業

盲導犬使用者及び使用予定者に対する歩行、及び視覚障がい者が社会に参加するため、次の訓練を行った。

- ① 盲導犬貸与希望の問い合わせが 5 件あり、内 1 件の自宅面接を行った。
- ② 盲導犬使用者のフォローアップとして 14 名、延べ 131 回の歩行訓練指導及び相談を行った。

III 盲導犬育成事業

盲導犬を育成するために、次の事業を行った。

- ① 繁殖
盲導犬候補犬及び繁殖犬確保の為、繁殖事業において協力関係の AGBN(ASIA GUIDE DOGS BREEDING NETWORK)実務者会議に参加し、国内外の盲導犬育成施設及び優良な犬を保有するブリーダーとの交流を行った。
盲導犬候補犬確保を目的とし、当協会で生まれたパピー頭数 7 頭。
(交配件数は 1 回、内 1 回出産し、7 頭出産。)
一般ブリーダーより成犬 1 頭と子犬 1 頭、を購入した。
- ② パピーの育成
令和 5 年度は、11 頭の子犬をパピーウォーカーに委託し、9 頭の子犬の委託を修了した。
パピーウォーカーに対して、訪問・来所指導を計 189 回、月齢の近い犬が参加して研修会を 1 回行い、併わせて電話での指導を行った。
- ③ 盲導犬候補犬の訓練
盲導犬候補犬の訓練において稟性・健康評価ならびに定期的な訓練評価を実施し、適性のある犬に対し候補犬の訓練を行う。適性のない犬の中で PR 犬として活用できる犬を選定し、啓発活動用に訓練を実施した。
- ④ キャリアチェンジ犬
広告媒体などを積極的に活用し、キャリアチェンジ犬譲渡希望者を継続的に募集し、確保

に努め、キャリアチェンジ犬 5 頭を譲渡した。

⑤ リタイア犬

広告媒体などを積極的に活用し、リタイア犬譲渡希望者を継続的に募集確保に努め、リタイア犬 8 頭を譲渡した。

犬舎状況(令和 6 年 3 月末時点)

活動盲導犬 12 頭/ 累計 74 頭

協会所有犬	頭数
訓練犬	4
繁殖犬	10
パピーウォーカー委託中	15
PR 犬	3
その他 (キャリアチェンジ、リタイア待ち)	8
合 計	40

譲渡犬	今期頭数	累計頭数
リタイア犬	8	238
キャリアチェンジ犬	5	141

IV 盲導犬歩行指導員、盲導犬訓練士および職員の研修

- ① 連合会職員相互研修会が 6 回開催され、現地又はオンラインで参加した。
- ② 動物福祉講義が 3/29 より開始。計 12 回を受講した。犬舎・事務局職員が参加。
- ③ 外部講師を呼んでハズバンドリートレーニング講義を 6 回、T タッチセミナーを計 3 回、受講した。

V 盲導犬啓発普及事業

盲導犬の必要性について社会全般への啓発を図り、盲導犬育成を推進するため、次の事業を行った。

- ① 盲導犬希望に関する問い合わせが 5 件あり、その内、1 名に対して、自宅面接を実施し、盲導犬貸与希望者を募るとともに広報誌「ワンダフル通信」の音声版の継続発行を通して、盲導犬に関する情報提供を行った。
- ② 今年度は、学校講演や施設見学会、一般講演数がやや多くなり、各種イベント参加数は

大巾に増え一般市民と多くの接触機会を持つことができた。結果は次の通り。

イベント活動	計	62回(前年47回)
施設見学会	計	2回(前年5回)
特別見学会	計	10回(前年3回)
学校講演	計	76回(前年74回)(神戸市47校、姫路市6校、その他23校)
一般講演	計	11回(前年9回)
資料(啓発パネル・DVD)の貸出し回数		8回

- ③ イベントや講演時に盲導犬と視覚障害について理解を深めるための啓発に努めた。
- ④ 街頭募金活動
姫路、西神、名谷、大丸前、三宮などで計38回実施し、PR犬とのふれ合いやチラシ配布を行い盲導犬の啓発に努めた。
- ⑤ 広報誌「ワンダフル通信」を当初、年4回(4月・7月・10月・1月)発行していましたが、令和6年1月より年2回(4月・10月)に変更した。
視覚障がい者向けの音声版「ワンダフル通信」発行。
ホームページの更新を随時行い、協会のイベントや情報を発信した。
- ⑥ 啓発用資料等の充実を図り、渉外用協会紹介3つ折パンフレットとサンキューカードの配布に努めた。また盲導犬チャリティーグッズの新商品開発を行い、啓発活動で紹介し寄付を募った。(新クリアファイル、新トートバッグ、コットンTシャツ、ボールペン)
- ⑦ 新聞・ラジオ等の取材機会を積極的に設け、ネットや紙面記事となるよう努めた。
SNSでは、Facebook 248回、インスタグラム 255回の情報発信を積極的に行った。
また、6月クラウドファンディングの期間中、神戸新聞とネットニュースに掲載された。
- ⑧ 「第21回国際盲導犬デーin神戸」は、4月29日にしあわせの村の芝生広場で開催、同日開催予定だった慰霊祭は雨天のため延期し、6月24日に協会で開催した。

VI 関係団体協力事業

- ① 国際盲導犬連盟の正会員として、施設環境を常に国際レベルの基準に保つよう、定期的に見直し・修繕を行うよう努めた。
- ② 認定NPO法人全国盲導犬施設連合会、AGBN、その他補助犬団体との相互協力を行った。

VII 相談事業

- ① 盲導犬ユーザーからの相談や苦情、一般市民からの盲導犬に関する相談や苦情に対して、迅速に対応した。

管理部門

(1) 個人会員・団体会員の増強

広報誌「ワンダフル通信」を通じて情報発信を行い、盲導犬育成事業への継続的な支援をお願いするとともに、安定的な事業運営の為、イベントや講演、クラウドファンディング等で新規会員入会の働きかけを行った。

新規会員数 18 名

(2) 寄付支援者の増強

ご寄付いただく新たな方法として一昨年より始めたクレジットカード決済を継続的にを行い、定着しつつある。

1000 円～10000 円の金額を用意した他、マンスリー会員(500 円、1000 円)にも登録でき、好きな時にご寄付いただけるようになった。

(3) 募金箱設置先の拡大

新規募金箱設置件数	85 件
募金箱交換件数	1,411 件

(4) 街頭募金の定期的実施

協会募金活動ボランティア、高等学校やライオンズクラブ様と協力して安定的な事業運営の為の募金活動を行った。

(5) 自動販売機設置の拡大

新規自動販売機件数	0 件
自動販売機設置件数	39 件(令和 6 年 3 月 31 日現在)

(6) クラウドファンディング挑戦

盲導犬を育成する目的で 6 月 1 日～7 月 25 日(55 日間)まで READYFOR のサービスを使いクラウドファンディングを行い目標の 500 万円に対して 606 万円を達成することができた。

(7) ボランティアの養成

盲導犬育成事業への支援ボランティア(事務、イベント関係及び環境整備)の確保とスケジュール管理のためにグループウェア(ラインワークス)を活用した。

2 月 10 日ボランティア会を中山記念会館内で行い、ボランティアの皆様への感謝をお伝えし、結束を深めることができた。

(8) その他、目的を達成するために会議を行った。

毎月上旬に全体会議、貸与委員会会議を行った。

4 月～10 月まで月 1 回犬舎会議、11 月以降は月 3 回、犬舎連絡会を開催、毎月上旬に

事務局会議を開催し、効率的な組織運営や資金獲得に向けて職員の相互理解、意識を高めて目的に向けて活動するよう努めた。

それ以外にも随時、CC 犬、R 犬譲渡委員会会議、医療費助成検討会議、助成金ミーティングを行った。

(9) 職員のスキルアップや技術の向上を図るための研修に参加

- 関西盲導犬協会へ長期研修(1名1年間) 1名
- ロイヤルグルーミング研修 オンライン 1回
- 組織内コミュニケーション研修 1回
- 視覚障害理解講習 1回

施設整備

(1) ボランティアの協力を得て、定期的にドッグランや協会周辺の草刈りを行ない、環境美化と犬たちの安全な訓練のための環境整備をおこなった。

更に下記の助成金を活用し環境整備や各種備品を購入した。

- NHK 歳末たすけあい義援金 ゴープロ(3万円)
- 神戸やまぶき財団前期 事務局トイレ改修工事(361万円)
- 神戸やまぶき財団後期 繁殖室防音リニューアル工事(109万円)
- 阪神馬主協会 業務用ガス衣類乾燥機2台(30万円)
- 長谷川福祉会 協会紹介DVD作成費(50万円)
- フェスピック助成 啓発用パネル18枚、イーゼル6本(5.5万円)
- クラウドファンディングセカンドゴール ドッグラン整備(88万)
- 自己資金 ドッグラン日除けカーポート6m×12m(85万円)